(様式第3号)

## 企業・団体名(有限会社国美工業

## SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30様式改定】

カ							1	I I			7ゴールと					
テゴ	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組 (県などの取得認証があれば 併せて記載)	1		3		5 6	7 8	9 1	0 11	12	13 14	15 16 17
コリ	/ ± / / <del>%</del> H	レベル	選択入力	選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	135 <b>M44</b>	2 ===	3 10000E -/W/♣	4 mean	5 saccaran © ************************************	7 sizes about 8 sizes	9 55010500	11 25222	<b>⊘</b>	13 MARTIN.	15 1000
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・あらゆる雇用条件で差別しない体制を構築するととも に、様々な事情を抱えている従業員が差別を感じない職 場づくりを経営者が積極的に関与している					5.1 5.2 5.5	8.5 8.7 8.8		0.2			16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・長野県の「社員の子育て宣言」に登録している ・長野県の「イクボス・温かボス宣言」をしている ・子育てをしやすいように「一般事業主行動計画」を策定 している(長野県労働局へ提出)					5.1 5.2 5.5	8.5 8.8					16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・労働関係法令を厳守し、長時間労働の防止に取り組んでいる ・残業時間を把握し、有給休暇を半日単位で取得可能にし、有給取得の取得を奨励している						8.5 8.8					
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・昨年までは外国人を雇用していたが、現在は在籍していない。雇用時は母国の風習や宗教等を理解し、差別や人権侵害がおきないようにしている				4.4		8.7 8.8		0.2			
5 人	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・毎月社内にて安全教育を行っている ・工事現場では保安用具の着用を徹底している ・各現場にて危険予知活動や社内安全パロールを行っ ている			3			8					
権 · 労 働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・年1回アンケートをとり、希望に応じて面接を行い、本人の希望する業務へと配置替えを行うなどして心理的安全性の高い環境に整備している・社内のコミュニケーションを良くし、働きやすい職場環境づくりを心掛けている			3								
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本			・あらゆる雇用条件で差別しない体制を構築している ・長野県の「社員の子育て宣言」に登録している ・長野県の「イクボス・温かボス宣言」をしている ・社員の年齢制限を撤廃した ・本人の希望や適性を考慮して仕事内容を決定している					5.1 5.5	8.5		0.2			
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・資格取得支援制度規定により、資格取得や講習会等 の費用を全額支給している				4	5.5	8	9				
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・現在非正規社員はいないが、同一労働同一賃金の原 則に沿って公正な待遇を行っている					5.5	8.5	10	0.2			
0	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・全国健康保険協会の健康保険委員を務めている ・インフルエンザ予防接種費用を負担している ・年1回健康診断を実施し、検診時の費用(オプション代 含む)を負担している			3			8					
1	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・長野県産業廃棄物3R実践協定を締結している ・廃棄物処理法を厳守し、マニフェストにて廃棄物の管理 を適切に行っている								11.6	12.4	14.1	
2 環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・C02の排出量の算出はしていないが、自社の電気・水道使用量を把握し、請求書にて使用料が適切であるか確認し、削減に努めている						7.3				13	
境 3	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・節電・節水に取り組んでいる ・排ガス抑制重機の導入を推進中 ・事務所の照明のLED化を推進している						7.2 7.3			12.4	13.3	
4	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本			・特定化学物質作業主任者やリスクアセスメント教育講習を受講し、法令で規制されている有害化学物質を把握し、適正に取り扱っている			3.9		6.3			11.6	12.4		

+				1			<u> </u>	·SDGs	(17 <b>–</b> ř	ールと169	ターゲッ	ト) 艮	油頂日		
カ   テ	- L-F-D	取組	【非該当】	【予定】の		1 2		5	$\frac{17}{6}$		10 11			15 16	17
ゴ	チェック項目	レベル	の場合 選択入力	場合 選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)		8 second 4 second 4 second 1		Sweet to 7 miles		10 cesses 11 cesses 4			15 HMM 16 HMM 16 HMM 1	
IJ						Minist ——	<i>-</i> ₩•	<b>.</b>	å ö		⟨€⟩   ABE	$\infty$		<u> </u>	<b>89</b>
					・河川工事において、漁業組合の要請に応じて魚類保護 に協力している										
1.5	【生物多様性】	#-			・工事現場で要請に応じて適正な排水処理をおこなって									4-	
15	・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			いる  ・地域住民の要望を聞き環境に配慮した資材の選定、施			'	6.6					15	
					工方法を取り入れている										
					  ・長野県産業廃棄物3R実践協定を締結している										
16	【3 Rの推進】	基本			・廃棄物の削減化や資源化に取り組んでいる							12.5	14.1		
	・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	22.7										1.2.5			
					・工事現場では必要に応じて水道より川の水を使用する										
	【水の管理】	チャレン			ようにし、事務所では毎月使用料を確認し、節水に努め			١,	6.4						
17	・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	ジ			ている  ・工事現場で要請に応じて適正な排水処理をおこなって				6.6						
					いる										
環	【環境マネジメントシステム】				・環境マネジメントシステムの取得はしていないが、環境 保護や資源の有効活用を常に意識して業務遂行してい										
境 18	・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得してい	チャレン ジ		【予定】	る。また、会社の発展状況により、取得を検討してみたい		3.9		6 7			12	13.3 14	15	
	বি														
					·長野県産業廃棄物3R実践協定の計画書及び報告書										
19	【環境情報開示】	チャレン			を提出し、長野県HPにて公開している。長野県SDGs推進企業登録制度の参加し、環境への取り組みを開示して							12.6			
10	・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ジ			進正素豆鋏利及の参加し、環境への取り組みを用示して   いく							12.0			
					  ・工事現場での交通整理用看板等は、太陽光パネルを										
20	【再生可能エネルギーの利用】	チャレン			熱源としたものを積極的に使用している				7.3	2			13		
	・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	ジ			・事務所の照明のLED化を推進している				'	_					
					・現場では環境に配慮した資源の調達を心掛け、事務所										
21	【天然資源の持続的利用】	チャレン			ではコピー用紙の再生紙利用や裏紙利用、両面印刷、白黒印刷またはペーパーレス化を推奨している							12 2	13 14	15	
	・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	ジ			・工事関係書類の紙から電子化へ移行							12.2	10 11		
					  ・汚職/贈収賄の禁止を社長から社員へ周知徹底してい										
22	【汚職・贈収賄防止】	基本			5									16	
	一・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	22.7												16.	5
	【公正な競争】				・不正競争行為の禁止を社長から社員へ周知徹底して										
23	・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			いる									16	
	<b>V</b> to tt D to to 1D = # <b>V</b>				・業務の中で知的財産保護の大切さを社長から社員へ										
24	【知的財産保護】  ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			徹底している					8.2 8.3 9					
					  ・個人情報の管理義務を就業規則にて定め、体制を整										
公正					備している										
25 な		基本			・就業規則にて退職後の就業制限や、服務規律の遵守									16	
事	個人情報を過ぎた日生している				に努めている										
業					  ・紛争鉱物は取り扱っていません。今後も取り扱わない方										
26 慣 行		チャレンジ	【非該当】		針									16	
11		-			・施主、元請け、下請け、行政との意見交換会、長野県										
	【サプライチェーン管理】  ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ	チャレン			建設業協会や茅野市建設業会等で情報共有をし、悪影										
27	一、サンプイヤー、事業パートナー寺と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系ペーの悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に	チャレン			響や、倫理面での適切な対応に取り組んでいる			5		8	10	12	13   14	15 16	17
	ついて認識を共有し、共に取り組んでいる														
					・現在「パートナーシップ構築宣言」を公表してはいない										
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加)	基本		【予定】	が、今後作成を検討したい		3			8 9	10				17
20	・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	±~1^`		L F ACI							.5				'

		チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合		1 2	3		Gs (1			)ターゲッ │10 │11			16 17
			レベル	選択入力	選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)		3 40000000 -/W-	4 3/20 <sup>601</sup> 5 982	6 (8)2210	7 ************************************	1 8	10 10 11	12 ****** 18 ***************************	14 \$65*** 15 \$15****	17
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・主に維持工事では地域住民の利便性や安全性を確保するための話し合いを発注者と行っている ・工事現場での安全確保のため、危険予知活動や安全パトロールの実施、保安用具の着用を徹底している		3.9						12.4		
30	製 品 ·	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・発注者からの要望や意見を社内で共有する体制を整えている。クレームに対しては原因を特定し、再発防止策を社内で徹底している ・労働災害関連の保険に加入している						9				
31	サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・使用材料に再生資源材を積極的に活用するようにしている ・コピー用紙の再生紙利用や裏紙利用、両面印刷、白黒印刷またはペーパーレス化を推奨している				6				12 13	14 15	
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・緊急災害復旧工事に対応している ・県道/市道や区の除雪、融雪業務を行っている ・長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、社会課題の 解決に取り組んでいく	1 2	3	4 5	6	7	8 9	10 11	12 13	14 15	16 17
33		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・地元住民に向けて事前工事説明会を行うことで事業の 地域への影響の把握を行っている ・苦情には速やかに対応している			4			9	11	12	14 15	17
34	地域貢献・	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・茅野市消防団協力事業所に認定されており、社会貢献活動に取り組んでいる ・社長がライオンズ活動に参加、協力している ・長野県建設業協会及び茅野市建設業界との災害協定 を通じて、要請があれば優先対応している			4				11		14 15	17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			・資材・燃料は地元から優先的に利用するようにしている ・地域の人材を雇用している ・						8 9	11	12 13		
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			·経営者が経営理念/経営方針を社員に説明し、共有している						8 9				17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本			・社内会議において、法令・就業規則及びコンプライアン ス遵守についての重要性を唱え、共有している										16
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・当社は小規模のため、部門責任者は設置していないが、会社が社会・環境に及ぼす影響に対し社長が対応している										16
39	組	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			・長野県・茅野市・施主・元請け・下請け等と情報交換を 行い、当社の事業活動が及ぼす影響を把握し、対応する ことで、ステークホルダーと信頼関係の構築をしている										16 17
40	織体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・各現場で想定されるリスクや安全対策を社内にて情報 共有し、適切な対応をしている ・工事現場では保安用具の着用を徹底している。 ・各現場にて危険予知活動や社内安全パトロールを行っ ている										16
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基 づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組ん でいる	チャレンジ			・社内会議、社内報や掲示板等でCSRを常に周知し、責任を持った対応に取り組んでいる ・地域住民の要望や意見をを真意に受け止め責任を 持った対応に取り組んでいる。										16
42	Ī	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			・BCPの策定まではしていないが、事故や災害発生時に備え、緊急避難場所の社員への周知、連絡網を作り、対応を確認している						9	11	13 13.1		16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ		【予定】	・社長50代とまだ若く、現在後継者候補はいないが、候補者が決まり次第育成を行う						8 9				17

## 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4 5	6	7	8 9	10	11	12	13	14	15 16	6 17

## 【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が 可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエク セレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林 CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<u>赤字</u>で番号を記載
- 〇 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載 ※ 1 …組織の社会的責任に関する国際規格 ※ 2 …労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定